



常陸大宮市文書館 第13回文書館カレッジ

シリーズ 常陸大宮と佐竹氏 その12

南北朝内乱と茂木氏

—戦乱を生き抜いた東国武士—



講師：藤井 達也氏 (水戸市立博物館)

鎌倉幕府滅亡から約60年間も内乱が続いた南北朝時代は、武士たちにとって激動の時代となりました。常に移り変わる状況の中、彼らは自分の所領を守るため、様々な方策を講じるようになります。本講座では、常陸大宮市の西隣を本拠とする茂木氏の動向を中心に、東国武士の生き残り戦略を紹介します。あわせて、佐竹氏や常陸大宮市との関係についてもお話しします。

期日：令和4年5月28日(土)

午後1時30分開演
(午後0時40分開場)

会場：常陸大宮市文化センター
ロゼホール 大ホール
(常陸大宮市中富町3135-6)



檜山城跡(常陸大宮市檜山)

定員：400名 **入場無料**

申し込み：電話・メール・FAXにてお申し込みください。
(メールでのお申し込みの際、当館からの返信が無い場合はご連絡ください)



【参加にあたっての注意】

- ・マスクの着用、検温、消毒へのご協力をお願いします。
- ・体調がすぐれない場合は参加をご遠慮ください。
- ・会場内ではソーシャルディスタンスをとり、会話はなるべくお控えください。
- ・会場内では係員の指示に従ってください。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、延期またはオンライン等への変更になる場合があります。その場合はホームページ等で告知します。

【お問合せ・お申込先】

常陸大宮市文書館 (月曜・祝日休館)

〒319-2226 常陸大宮市北塩子1721
TEL 0295(52)0571 FAX 0295(52)0851
E-mail: bunsho@city.hitachiomiya.lg.jp

【後援】茂木町まちなか文化交流館ふみの森もてぎ、茨城大学中世史研究会